

# 梶延町フロアカーリング利用ガイド

## ◎用 具

- ターゲット（4輪）・・・1個（グリーン）
- フロッカー（3輪）・・・6個または8個（レッド・イエロー）
- メジャー
- スコアシート



ターゲット



フロッカー（赤）



フロッカー（黄）

## ◎人 数

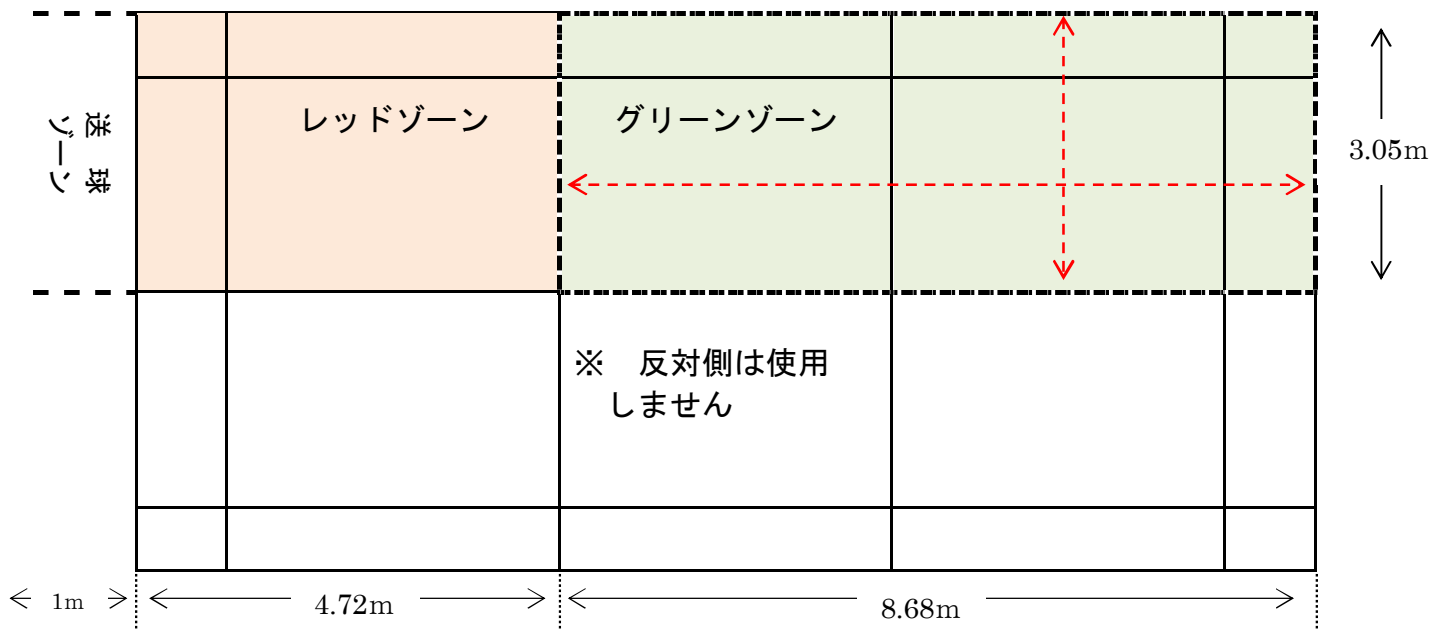
- シングルス（1対1）：フロッカー6個または8個
- ダブルス（2対2）：フロッカー6個または8個
- トリプル（3対3）：フロッカー6個
- フォース（4対4）：フロッカー8個

## ◎コートサイズ

- ・幅3.05m×13.40m（バドミントンコート半分の広さ）

※ただし、コート設営に余裕のない場合、コートを縮小しても構いません。

### バドミントンコート



## ◎実施場所

- 1 アリーナAコート・・・バドミントンコートを使用します。
- 2 アリーナBコート・・・ラインがないため、コーンを立てて行います。
- 3 柔剣道室・・・・・・・・専用コートを使用します。

## ◎送球方法

- ・片膝か両膝を床面についた体勢から、ターゲットもしくはフロッカーのグリップを握り、送球ゾーン内で軽く前後にスイングさせた後、目標に向けて押し出す。
- ※ フロッカーのハンドルを、左右どちらかにひねって送球すると、その方向に遠心力が働きカーブします。

## ◎ゲームの進め方

1. じゃんけんで先攻を決め、勝ったチームの1人が送球ゾーンからグリーンゾーンに向けてターゲットを送球する。
  - ※ 送球とは、ターゲットかやフロッカーを手から放し、停止するまでをいいます。その間、身体が送球ラインに触れたりライン外に出てはいけません。
2. グリーンゾーンにターゲットが停止しない場合は、無効になり、再度やり直しとなります。2回とも停止しない場合は相手チームに権利が移ります。フロッカーの送球は先攻権を持つチームから行う。
3. 先攻チームは赤のフロッカーを、後攻のチームは黄色のフロッカーを使用します。(セットごとに交換)
4. ターゲットがグリーンゾーン内に停止した後、先攻チームの1人がフロッカーを送球します。
5. 続いて、後攻チームの1人が送球します。(先攻のフロッカーが停止しないうちに送球してはいけません。)
6. 先攻、後攻が1球ずつ送球した後、ターゲットに近いチームが優勢、遠いチームが劣勢となります。いずれの場合も次の送球はターゲットより遠いチームが行います。(逆転するまで行います)
7. 1投目の先攻チームのフロッカーがコート外にでた場合は、後攻チームが送球する。なお、後攻チームもコート外にでた場合は、先攻チームが送球する。
8. Bチーム(遠いチーム)が2個目の送球した結果、ターゲットにAチーム(近いチーム)のフロッカーを弾きターゲットに接近した場合、次の送球権はAチームに移り、ターゲットにBチームより接近するまで送球を続ける。
9. ライン上で停止したフロッカーは全て有効となります。また、送球中1度コート外に出たフロッカーが、再びコート内に戻ってきた場合も有効です。
10. 両チームの全てのフロッカーを送球して、セットやゲームを終了する。

### ◎勝敗と得点

1. 9点先取したチームが勝ちとなり、ゲームを終了します。
2. 得点は、ターゲットを中心に最も近いフロッカーのチームに与えます。ターゲットに最も近い相手チームより内側にある自チーム全てのフロッカーの個数（1個1点）がそのまま得点となります。
3. 送球したフロッカーが、ターゲットをコート外に弾きだした場合、そのセットは終了します。ターゲットを弾きだしたチームは相手チームに2点または相手チームの未送球フロッカーの数のいずれか多い方を得点として与えます。（ターゲットをレッドゾーンに弾き飛ばした場合もセットを終了します。）
4. A・Bチームともターゲットに最も近いフロッカーが同距離の場合は、1点ずつ与えます。

### ◎その他

- ・レッドゾーンにあるフロッカーも有効となります。
- ・両チームのフロッカーが同距離の場合、後に近づいたチームが送球をする。